

施策体系シート(行政経営Bシート)

作成者	組織	厚生政策課	職	課長	氏名	諏訪 克之
評価者	組織		職		氏名	

施策	施策の目標	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		評価
					(年度)	(年度)	
施策 1	質の高い福祉人材の確保・育成	1 福祉サービス対象事業者の研修参加率	%	100 (H25)	43.5 (H23)	(H24)	
		2 民生委員・児童委員の定数に対する充足率	%	100 (H26)	100.0 (H23)	(H24)	

施策の目標達成に向けて重点的に取り組むべき課題						課題に対する主な取り組み				評価		
施策	課題	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		事務事業	対象	予算 (千円)	決算 (千円)	事業の有効性	今後の方向性
					(年度)	(年度)						
施策1	課題1	質の高い福祉人材の確保・育成	1 福祉サービスを提供する対象事業者数に対する研修参加率	%	100	43.5 (H23)	(H24)	1 福祉サービス提供体制強化事業	市町 介護事業者	6,813		
					H25	(H24)						
			2 民生委員・児童委員の定数充足率	%	100 (H26)	100.0 (H23)	(H24)	1 民生委員活動支援事業	市町、民生委員 県社協、市町社協	5,000		

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 福祉サービス提供体制強化事業	事業開始年度: H23	事業終了予定年度:	作 組 織: 厚生政策課
	根拠法令 ・計画等		成 職・氏名: 主任主事 藤川 者 電話番号: 076 - 225 - 1419 内線 4017

事業の背景・目的
 県民が、介護、障害、児童等の福祉サービスを安心して利用できるよう、サービスの質の向上と不正の未然防止を図るため、福祉サービス事業者に対する指導監査及び研修体制を見直し、より良質な福祉サービス事業者を育成する。

- 事業の概要**
- (1) 指導監督の見直し
- ① 集団指導
 - ・実務担当者を対象(サービス別の集団指導)
 - ・共通事項(すべての福祉サービスを対象とした集団指導)
 - ② 実地指導
 - ・指導監督職員の資質の向上
 - ・実地指導マニュアルを作成し、効率的で効果的な指導の実施
 - ・自己チェックリストによる自主点検の実施
- (2) 研修の強化
- ① 介護、障害分野(経営者から現場の責任者までを対象)
 - ・第1人者による研修、質の高いサービス提供に関する研修
 - ② 保育分野(施設長・保育士を対象)
 - ・保育所に求められる園児の体調管理や体調不良時への対応
 - ③ 共通分野(経営者を対象)
 - ・経営管理手法等に関する研修
(講師2名の二部構成)

施策・課題の状況			
施策	質の高い福祉人材の確保・育成	評価	
課題	質の高い福祉人材の確保・育成		
指標	福祉サービス提供する対象事業者数に対する受講者数割合	単位	%
目標値	現状値		
平成25年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
100	-	-	43.5

事業費						
	(単位: 千円)	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費	予算				6,300	6,813
	決算				4,933	
一般	予算				5,800	6,559
財源	決算				4,581	
事業費累計		0	0	0	4,933	11,746

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)		
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)		

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 民生委員活動支援事業	事業開始年度: H24	事業終了予定年度:	作 組 織: 厚生政策課
	根拠法令 ・計画等		成 職・氏名: 主任主事 橘 者 電話番号: 076 - 225 - 1419 内線 4019

事業の背景・目的
 民生委員・児童委員は地域住民の身近な存在として、地域福祉活動の中心的な役割を担っているが、業務の多様化や負担感の増などから、全国的にも民生委員・児童委員のなり手不足等が懸念されている。
 このことから関係者連絡会議を開催し、民生委員活動に関する課題を洗い出したうえで、民生委員のなり手不足の解消や負担感の軽減を目的とした研修会等を実施し、民生委員が活動しやすい環境作りを推進する。

- 事業の概要**
- (1) 民生委員活動連絡会議の設置
 民生委員が円滑に活動を実施するために、個人情報等の取扱い等を含め、民生委員活動に関する様々な課題を整理。
- (2) 民生委員の確保・育成
 ① 民生委員確保のための地域福祉勉強会の実施
 “次代の民生委員”の確保支援のため、今後、地域福祉活動の中心的な役割を担うと期待される方に対して、民生委員活動のやりがいや社会的意義をアピールする勉強会を実施し、民生委員活動の理解促進により候補者のすそ野の拡大を支援する。
- ② 福祉課題対応力の向上のための研修会の実施
 現職の民生委員の負担感の軽減を図るために、実際に直面し得る困難事例等を題材に、保健福祉関係者とともに、実践的なケーススタディを実施し、「顔の見える関係づくり」により関係機関との連携の円滑化や、見守り活動のスキルアップを図る。

施策・課題の状況					
施策	質の高い福祉人材の確保・育成				評価:
課題	質の高い福祉人材の確保・育成				
	指標	民生委員・児童委員の定数に対する充足率			単位: %
	目標値	現状値			
	平成26年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
	100	100	100	98	100

事業費					
(単位: 千円)	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費					5,000
一般					0
財源					
事業費累計	0	0	0	0	5,000

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)		
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)		